



東海村

議会だより

2023.10

第54号



目次

9月定例会

議会トピックス 補正予算	P 2～ 3
賛否の分かれた議案、討論	P 4～ 5
村政を問う!〔一般質問〕	P 6～13
マイストーリー／12月定例会日程(予定)	P 14

9月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和5年第3回定例会（9月議会）は、9月1日に開会し、9月26日までの会期で開催しました。9月11日から13日の3日間、13人の議員が一般質問を行いました。また、14日から21日の期間に令和5年度の補正予算と令和4年度の決算を審査し、最終日26日の議案審議を行い閉会しました。

議案審議では、総合福祉センターの多目的駐車場建設工事費を含む補正予算など村長提出の17件の議案を可決・承認しました。なお、令和4年度決算は、一般会計、特別会計及び企業会計の合計10件を認定しました。また、請願3件、陳情1件を審査し2件を採択、他の2件を不採択としました。

議会トピックス 補正予算

今議会に提出された令和5年秋開始接種の新型コロナウイルス感染症対策の補正予算、（仮称）東海村緊急保育室整備工事設計業務委託料を計上する補正予算を全会一致で可決・承認しました。

補正 予算

子育て世代を支援する

（仮称）東海村緊急保育室をつくります！

女性の就業率の上昇などに伴う保育所入所希望者の増加を受け、新たな保育ニーズの受け皿として、（仮称）東海村緊急保育室を創設します。入所保留・待機児童が、認可保育施設に入所できるまでの期間、保育を担う施設です。

- ・供用開始 令和7年4月（予定）
- ・設置場所 須和間幼稚園（須和間440番地）
- ・定員 0～2歳児 30名（予定）
- ・利用対象者 村内在住で認可保育施設に入所できない入所保留・待機児童
- ・開所時間 午前7時30分から午後7時まで



東海村緊急保育室となる須和間幼稚園

補正 予算

専決処分で速やかに事業開始

新型コロナ 令和5年秋開始接種がスタート



新型コロナウイルス感染症対策の秋の接種事業の開始に伴い、一般会計補正予算（第4号）を承認しました。本補正予算は、緊急を要するため7月21日に村長が「専決処分」として執行し、議会が承認したものです。

令和5年秋開始接種は、9月20日から開始しており、村内のワクチン接種協力医療機関では、9月25日から接種が開始されました。詳しくは、東海村のホームページなどからご確認ください。左のQRコードをスマホのカメラなどで読み込むと、村の接種案内が表示されます。



東海村 令和5年
秋開始接種案内

令和4年度決算を審査しました

9月議会では、前年度の決算（歳入・歳出の実績）について審査をしました。

決算審査とは、議会が決定した予算について執行状況の実績や効果を審査・評価することです。当議会では一般会計予算決算委員会と特別会計予算決算委員会に分けて、委員会に付託して審査します。委員会で作された決算に対する意見の一部を紹介します。

一般会計

歳入

歳出

281億円 / 269億円

意見と今後留意すべき事項

- 空家等解体・リフォーム工事費補助事業については、決算額からも空家撲滅の抜本的対策となっていない。空家問題は地域から強い要望も出されており、新たな施策を検討すること。
- 働き方改革については推進する法律が施行された趣旨を役場職員へ再教育を行い、月45時間、年間360時間の原則、休暇を5日以上取得するよう努めること。

特別会計・企業会計

国保／介護／下水道／病院 など

全10会計

意見と今後留意すべき事項

〔病院事業会計〕

- 東海病院の常勤医師の確保に努めること。
- 設備投資については、購入のみならずリースも含め検討すること。



※決算の内容について詳しくは、広報とうかい10月10日号に掲載されています。

委員会レポート

原子力問題調査特別委員会

請願審査

原子力問題調査特別委員会では、東海第二発電所の再稼働に関する4件の請願について、令和3年6月から審査を開始しました。この間、専門家への意見聴取や東海第二発電所の安全対策工事の視察など調査を行ってきましたが、一定の調査が終了したことから、採決を行い、下記の結果となりました。次回の定例会に報告書を提出する予定です。



請願名および請願事項	採決結果
請願第3-2号 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願 村内経済の維持及び中長期的発展のために東海第二発電所の早期再稼働を求める意見書を関係機関に提出すること	採択すべきもの
請願第3-7号 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願 脱炭素社会の実現と東海村経済の維持発展のために東海第二発電所の再稼働を求める意見書を関係諸官に提出すること	採択すべきもの
請願第4-1号 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働に反対する意見書の提出を求める請願 福島第一原発の教訓を踏まえ、日本原子力発電東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働をさせないこと	不採択とすべきもの
請願第4-2号 日本原子力発電東海第二発電所の再稼働に反対する請願 被災し老朽化した、危険な日本原子力発電東海第二発電所の再稼働中止を求めること	不採択とすべきもの

討論



討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

請願第512号

反対

公明党 植木伸寿議員

介護保険制度の利用者は、設立当初で3・5倍に増加している。また、介護職員の確保なども課題である。改善に向けては、これまでの審議会で積み上げられた議論により利用者本位に進めることが求められる。

賛成

大名美恵子議員

利用料引き上げや介護はずしをやめ、職員の処遇を改善するために、介護保険財政への国庫負担の引き上げを求める請願に賛同する。住民の声を意見書として国に提出するのが地方議会の役割。

反対

新政とうかい
笹嶋士郎議員

介護保険料等の負担軽減や介護保険財政の国庫負担割合の大幅な引上げを求めている。しかし、介護保険制度は、国の審議会でも十分検討を行っており、国庫負担割合の引上げは、国の財政が厳しい状況では認められない。

請願第513号

賛成

阿部功志議員

物価高、低賃金の中で、フリーランスや個人事業主の多くがこの制度につぶされ、失業・廃業のリスクを背負うようになる。生活弱者いじめ、冷たい政治の典型の制度。良いと言えない。う人は弱い立場の人への想像力が働かない。

反対

公明党 岡崎 悟議員

国に納めるべき消費税が事業者の手元に残る「益税」の解消が必要。中小事業者やフリーランスに対して、激変緩和措置が適用され、制度開始後3年間は、納付額を売り上げに係る消費税額の20%に軽減する。

賛成

大名美恵子議員

不採択とする理由は「益税となる預かり金解消の取組みとしてインボイス制度は必要」とのことだが、今年2月10日の衆議院内閣委員会でも「消費税は預かり金ではないため、益税は存在しない」ことを政府が認めている。

賛成

光風会 恵利いつ議員

税の公平公正は大切だが、いまだ制度内容の周知が不十分。個人事業主やフリーランスを中心に大混乱を招いている。現状で無理に進めることは、マイナンバーカードの二の舞い、国全体が混乱することになりかねない。

反対

新政とうかい
三上 修議員

インボイス制度は、消費者から預かった消費税を課税事業者が納税する制度。日々の消費で消費税を無条件で支払う年収106万円以下の労働者、低所得者や年金受給者を思う時、収税に有効な手段であり本請願に反対。

議案第43号

反対

大名美恵子議員

今では須和間幼稚園施設の新たな活用案を示される時期となったが、幼稚園を1園に統合する方針及び議会にも住民にもあまりに突然だった20年9月11日の庁議決定は認められない。

反対

村上 孝議員

石神幼稚園は令和7年度末に廃止と保護者や地域住民に一切の説明、協議なく一方的に通知。令和3年に保護者や自治会が存続請願、署名簿1084名を添えモデル幼稚園として存続を要望。特色ある幼児教育を。

議案第48号

反対

大名美恵子議員

神楽沢近隣公園の管理運営を、職員の仕事負担軽減と維持管理費削減を理由に営利企業等に委ねることに反対。公の施設の役割は「住民の福祉を増進」すること。職員は住民と直接触れ合いながら公務を果たすことが重要。



議案第49号

反対

大名 美恵子 議員

マイナンバー事業の受注企業が自民党の政治資金団体「国民政治協会」に21年までの8年間で計5億8000万円も献金。一方その企業には内閣府や総務省、財務省等の幹部が多数天下りしている。

認定第1号

反対

大名 美恵子 議員

22年度の法人企業統計では資本金10億円以上の大企業の内部留保が過去最高511・4兆円に。一方労働者の賃上げは物価高騰に追いつかず生活は一層厳しい。決算では住民生活を守ることを強めた積極的施策が見られない。

認定第3号

反対

大名 美恵子 議員

昨年度、保険料の引上げはなかったが賦課限度額の2万円引上げは土地を所有する方などの所得割に影響したこと、また昨年10月から医療費窓口負担が2割に引上げられた方が2008人にもなった負担増は認められない。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい									光風会		公明党					結果	
	飛田 静幸	舩井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子	村上 孝		阿部 功志
請願第5－2号	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	不採択
請願第5－3号	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	不採択
議 案 第 43 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	可 決
議 案 第 48 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	可 決
議 案 第 49 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	可 決
認 定 第 1 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認 定
認 定 第 3 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認 定
認 定 第 4 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認 定

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

請願第5－2号	介護保険制度の改善を求める請願書 介護保険制度の改善のため、本村議会から国に対して意見書提出を求めるもの
請願第5－3号	インボイス制度実施延期を求める意見書採択に関する請願書 10月1日から導入されるインボイス制度の実施延期を求めるもの
議案第43号	東海村立学校等設置条例の一部を改正する条例の制定について 村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画に基づき、石神、舟石川及び須和間幼稚園を廃止するため、条例の一部を改正するもの
議案第48号	東海村都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 神楽沢近隣公園の管理を指定管理者に行わせるため、条例の一部を改正するもの
議案第49号	令和5年度東海村一般会計補正予算（第5号） IT管理サポート業務人材の派遣、総合福祉センターの多目的駐車場建設工事に係る経費等のほか、令和4年度実質収支の確定に伴い、必要な予算措置を講じるもの
認定第1号	令和4年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和4年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	令和4年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

村政を問う!

一般質問

阿部 功志 議員 P.7

- 1 原子力災害における避難行動要支援者の見直しは
- 2 村内の病院や福祉施設における原子力災害の避難計画の進捗状況は
- 3 原子力災害における避難先の施設の確保状況と課題は
- 4 原子力災害の避難について「ターミナル方式」の課題は
- 5 県が原電に出させた放射性物質の拡散シミュレーションの公表は
- 6 再稼働に対する村民の意向把握の時期と方法は

植木 伸寿 議員 P.7

- 1 DX 活用に向けた取組状況は
- 2 電子図書館導入の準備状況は
- 3 今後のデマンドタクシーへの取組は

恵利 いつ 議員 P.8

- 1 原発再稼働の判断に必須とする住民の意向把握をどのように行うのか
- 2 「公共施設の在り方を考える」自分ごと化会議
- 3 歴史と未来の交流館開館2年を経ての課題は

寺門 定範 議員 P.8

- 1 保育の受け皿確保策について
- 2 農地利用の「地域計画」策定について
- 3 東海スマートインターの大型車両通行可に向けた取組状況について
- 4 国道6号の拡幅事業とその取付道路（村道）の実施計画について

岡崎 悟 議員 P.9

- 1 带状疱疹ワクチン接種への助成について
- 2 地域適応計画の策定について
- 3 「学校教育支援センター」の設置について
- 4 省エネ高断熱住宅への助成について

舛井 文夫 議員 P.9

- 1 合併70周年の事業計画及び推進体制について
- 2 東海村の都市計画の経緯について
- 3 村を走った幻の小さな鉄道について
- 4 駅西地区の活性化について

笹嶋 士郎 議員 P.10

- 1 久慈川豪雨災害対策について
- 2 小松原笠内線、遠間庚塚線の延長について
- 3 東海村北部振興について
- 4 ふるさと納税の現状と今後の見通しについて

村上 孝 議員 P.10

- 1 農業基本構想、農業基本方針について
- 2 農地活用に関する「地域計画」策定について
- 3 新規就農者の現状について
- 4 ほしいも残渣について

大内 則夫 議員 P.11

- 1 学童クラブにおける体調不良者と登校時間変更時の対応について
- 2 小学校の保護者用駐車場の整備について
- 3 単位自治会交付金について

大名 美恵子 議員 P.11

- 1 新型コロナウイルス感染症罹患者への対応について
- 2 自衛官募集事務に係る本村の対応について
- 3 再稼働を目指す東海第二原発をめぐる諸課題について
- 4 子育て支援「3つのゼロ」の実現を

江田 五六 議員 P.12

- 1 地球温暖化に伴う災害から村民生活を守る施策は
- 2 村民に寄り添った東海病院の在り方は

三上 修 議員 P.12

- 1 集会所の法定防火管理者は必要か
- 2 会計年度任用職員の正規採用引き上げ実績は
- 3 役場職員の出張手続きは簡便化を

飛田 静幸 議員 P.13

- 1 人にやさしい役場駐車場の整備について
- 2 高齢化に伴う集積所へのゴミ出しについて
- 3 広域避難計画の公表について
- 4 東海第二の再稼働に関わる今後の対応について

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

Q 東海村議会

検索



問 避難行動要支援者の見直しは

答 民生委員やケアマネの情報提供で



あべ こうし 議員

問 本村の避難行動要支援者は91名と少なすぎ。該当者は名乗り出よという把握の仕方を見直す必要がある。

答 支援の必要性を精査しないままでは、真に避難支援が必要な方を埋もれさせる可能性がある。民生委員による高齢者状況調査の結果やケアマネジャーなどからの情報提供で追加したい。介護の認定度や障がい状況から支援の必要性があると思われる方は、訪問調査などで把握する。



要支援者が必要とする福祉車両

問 現在の要支援者の個別避難計画ができたから、避難計画が策定できたとするのか。

答 個別避難計画の策定状況に左右されずに避難計画を公表する。

問 100名の要支援者に20台の福祉車両が必要。車両と支援者の確保は不足が想定されるよう、関係機関と連携を図る。

答 100名の要支援者に20台の福祉車両が必要。車両と支援者の確保は不足が想定されるよう、関係機関と連携を図る。

問 自治会活動等 DX の具体化は

答 さらなる DX 化の取組を支援する



公明党
うえき しんじ 議員

問 デジタル庁HPでは「より良くするためデジタル」が示されている。この理念を踏まえどう取り組むのか。

答 村では、全ての方がデジタル化のメリットを享受できるよう「スマホのスキル向上」が効果的と捉え、関係部署が協力、連携し、高齢者に寄り添うスマホ教室や相談窓口を行っている。新たな展開として南台区自治会では、育成されたスマホサポート員によるスマホ教室などが開催され、村も伴走支援している。これをモデルに、他自治会でも共助の輪を広



南台区自治会におけるスマホ教室の様子

問 自治会活動では、DXを具体的にどう活用していくのか。

答 自治会には、負担感の増大や加入者の減少などの課題が山積している。DXの活用により、情報の伝達の効率化や自治会事務処理の効率化による負担軽減やデジタル世代の参加意識の創出など、新たな変化をもたらすと期待している。今後も、引き続き自治会の声に耳を傾けながらデジタル化への取り組みを支援する。

問 意向把握は 住民投票も一つの手法

答 原発問題に住民投票は馴染まない



光風会
えり 恵利 議員

問 原発に対する思いは様々。再稼働是非についての住民の意向把握は今から始めるべき。情報を十分に提供した上での住民投票もその一つでは。

答 意向把握は時期も手法も未定。原子力問題は複雑な要素がある。住民投票で単純に是非の結論を出せばよいというものではない。

問 村長が100%安全と確信した時に再稼働。村民の安全を脅かす事態が起きたときの村長として



自治基本条例を上手に使う！
住民投票について書かれている自治基本条例のパamフレット

答 再稼働の是非判断はしていないが、村民の安心・安全を第一に考えることは当然。村政の全ては村民のためにあることを前提に、自らの責任を果たす。

問 3万8千人に対して責任をとる村長の覚悟について再度伺う。

原子力問題は住民も単純に○×を付けるはずがない。村長一人で再稼働是非の判断を背負うのではなく、住民と共に決定してはどうか。

答 最善を尽くし、住民の安全を守り抜くという責任を全うしたい。住民投票実施の考えはない。

問 スマートICの大型通行の 取組は

答 地区協議会の年度内開催を目指す



新政とうかい
てらかど さだのり 寺門 定範 議員

問 東海スマートインターチェンジの大型車両通行を見越した調査・検討を進めているが、地区協議会の開催に向けた現在の状況は。

答 地区協議会の開催に向け必要な基礎資料を準備している。準備が整い次第、事務レベルの話し合いから進め、関係機関と調整の上、年度内に地区協議会を開催していきたい。

問 保育の受け皿確保策が必要

答 既存施設を活用した確保策を検討

問 保育所への入所を



中型車以上不可の表示のある
東海スマートインターチェンジ入口

答 希望するニーズは高く、入所保留児童が増加している。スピード感のある思い切った発想による対応が必要。

問 できる限り多くの児童を受け入れられるよう、職員採用等により対応する。今後、ニーズ調査を実施し、その調査結果を踏まえ、保育の受け皿の必要量を協議していく。一方、早急な対応が必要であるとも認識しているため、緊急対策として既存施設を活用した受け皿確保策を検討し、調整を進めている。

問 带状疱疹ワクチン接種へ助成を

答 国や他自治体の動きを注視する

問 昨年6月議会に带状疱疹ワクチン接種費用への助成を求めた。带状疱疹に罹患した方からは、本当につらい痛みで予防にはワクチン接種しかないが高額であり、接種費助成を求める声があった。費用助成について考えを伺う。

答 带状疱疹ワクチンは、現時点では任意接種である。予防接種法に基づいて行う定期予防接種として追加を検討中で、厚生労働省の審議会などで、ワクチンの効果やその持続期間、導入に最適な対象年齢、ワクチンの比較、



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟



ワクチンで感染症予防

安全性等の検証・評価が進められている。村独自の接種費用の助成は、科学的な知見が得られた段階で検討できると考えている。国の審議会などの審議や評価の結論を待ちたい。今年度茨城県内の4自治体で、带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を開始したことは把握している。予防接種は、接種後の副反応や健康被害が社会的に問題になることもある。引き続き国及び他自治体の動向を注視したい。

問 村松軌道展、その意義と反響は

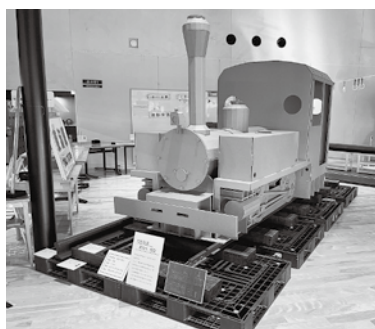
答 関わった人々の思いを伝え残す

問 歴史と未来の交流館での村松軌道100周年記念企画展を観て、公共交通の発想が民間人にあったことに深い感銘を受けた。開催の意義、反響について伺う。

答 村松軌道は大正15年から昭和8年までの7年間、村を走った鉄道である。平成31年に東海駅西口の建物の骨組みとして使われていた村松軌道のレールが発見され、企画展では、村松軌道のレールのほか、国立公文書館から借用した会社設立届出等の



新政とうかい
ますい ふみお 議員
舩井 文夫



原寸で復元した村松軌道機関車模型

文書や設計図を基に原寸で復元した機関車模型を公開し、村松軌道や関わった多くの人々の歴史や思いを後世に伝え、残すことができたと考えている。8月末時点で、村内のほか遠方からも延べ9176人の方に来場いただき、「東海駅から阿漕ヶ浦まで走った鉄道があった事を初めて知った」や「村松軌道の姿を初めて見て感動した」、「家の後ろを走っていた鉄道の歴史を知ることができた」など多くの反響があった。

問 都市計画道路の 久慈川まで延長を

答 小松原・笠内線変則交差点解消へ



新政とうかい
ささしま しろう 議員

問 久慈川沿線住民の緊急避難道路として、小松原・笠内線、遠間庚塚線の都市計画道路を久慈川側道まで延長について見解は。

答 昨年度に国道245号勝田拡幅の道路4車線化工事が完了した。現在は、国道6号東海拡幅、水戸外環状道路の新設などの事業が進んでいる状況である。これら路線の供用開始により、村内の交通状況に変化が考えられることから、今後を注視していく。

問 竹瓦住民の避難道路として、遠間庚塚線を久慈川側道まで延長

することを村は検討するべき。小松原・笠内線も原電線の変則交差点を解消して、久慈川側道まで接続出来ないかを伺う。

答 遠間庚塚線の延長には多大な負担が必要になる。現在の避難3ルートについて避難状況を注視し、必要に応じて対策を講じる。また、小松原・笠内線については、地元自治会から変則交差点の解消の要望を受け、地域と安全確保に向けた対策の協議を進めている。



改良が待たれる小松原・笠内線変則交差点

問 新規就農者への 補助制度の充実を

答 新規就農認定年齢の拡大を検討



むらかみ たかし 議員

問 農業従事者の高齢化や担い手不足が進んでいる。近年の新規就農状況の動向を伺う。また、新規就農者への国・県・村からの補助概要について伺う。

答 地域農業の継続的な振興を目的に、農業支援センターを窓口として新規就農の相談を受けており、年間7件程度の相談がある。かんしょ栽培の相談が多いが、農作業の現場拠点や畑も所有していないことから新規就農に結びつくには難しい状況にある。令和5年度は1名の親元就農で親が経営する畑や田を引

継ぐ意志のある方が認定に向けた手続きを進めているところ。国・県の補助としては、新規就農者経営発展支援・経営開始資金補助金があり、新規就農の立ち上げに使う制度がある。また、村独自の新規就農者への制度として、独立自営就農支援補助金、生産施設等整備補助金がある。今後は、定年年齢の延長や働き方の多様化など社会の現状を踏まえ、新規就農者の認定年齢について、対象を広げる見直しを検討する。



コンバインで稲刈り

問 物価高騰、自治会交付金見直しを

答 必要性を踏まえ調査検討する



新政とうかい
おおうち のりお 議員
大内 則夫

問 小学校6校のうち舗装されていないのは

答 村松小は新たなルートで整備する

問 保護者駐車場の舗装整備を求める

答 物価高騰の中でもイベントや活動が続けられるよう支援の必要性を踏まえ手法等について調査検討する。

問 物価高騰により自治会活動のイベント等の資材が高騰し、イベント内容の見直しをせざるを得ない等影響が出ているため、自治会交付金の増額が必要ではないか。

答 物価高騰の中でもイベントや活動が続けられるよう支援の必要性を踏まえ手法等について調査検討する。

問 物価高騰により自治会活動のイベント等の資材が高騰し、イベント内容の見直しをせざるを得ない等影響が出ているため、自治会交付金の増額が必要ではないか。

答 村松小は体育館脇としたいが、現在正門から入れないため別ルートでの進入路を考えている。舟石川小についてはグラウンドの舗装及びルートを整備すべきかは、今後の施設全体の利用の在り方を含め学校と協議していく。

問 物価高騰により自治会活動のイベント等の資材が高騰し、イベント内容の見直しをせざるを得ない等影響が出ているため、自治会交付金の増額が必要ではないか。

答 村松小は体育館脇としたいが、現在正門から入れないため別ルートでの進入路を考えている。舟石川小についてはグラウンドの舗装及びルートを整備すべきかは、今後の施設全体の利用の在り方を含め学校と協議していく。

問 物価高騰により自治会活動のイベント等の資材が高騰し、イベント内容の見直しをせざるを得ない等影響が出ているため、自治会交付金の増額が必要ではないか。

答 村松小は体育館脇としたいが、現在正門から入れないため別ルートでの進入路を考えている。舟石川小についてはグラウンドの舗装及びルートを整備すべきかは、今後の施設全体の利用の在り方を含め学校と協議していく。

問 物価高騰により自治会活動のイベント等の資材が高騰し、イベント内容の見直しをせざるを得ない等影響が出ているため、自治会交付金の増額が必要ではないか。

答 村松小は体育館脇としたいが、現在正門から入れないため別ルートでの進入路を考えている。舟石川小についてはグラウンドの舗装及びルートを整備すべきかは、今後の施設全体の利用の在り方を含め学校と協議していく。



保護者駐車場に予定されている体育館脇のスペース

村松小と舟石川小の2校だけである。碎石ではなく舗装すべき。舟石川小については保護者駐車場までの進入道路が狭く、交互通行は危険であるため「もみじ通り」に出られるよう一方通行にすべき。

問 子育て支援「3つのゼロ」実現を

答 入所保留児童解消を優先させたい



おおな みえこ 議員
大名 美恵子

問 本村の独自性と魅力を高め子ども人口の増加を期待して、既に高校卒業まで完全無償化の子どもの医療費ゼロ、ゼロ歳から2歳児の保育料と幼稚園も含めた3歳以上児の給食費の保護者負担をなくす保育料ゼロ、学校給食費ゼロの3つのゼロが保障された村を目指してはどうか。

また保育料と学校給食費、おのおの無償化に必要な費用を問う。

答 現在国は学校給食の無償化に向けた実態把握と課題整理を行った後に、具体的方策を検討するとしている。

問 本村の独自性と魅力を高め子ども人口の増加を期待して、既に高校卒業まで完全無償化の子どもの医療費ゼロ、ゼロ歳から2歳児の保育料と幼稚園も含めた3歳以上児の給食費の保護者負担をなくす保育料ゼロ、学校給食費ゼロの3つのゼロが保障された村を目指してはどうか。

また保育料と学校給食費、おのおの無償化に必要な費用を問う。

答 現在国は学校給食の無償化に向けた実態把握と課題整理を行った後に、具体的方策を検討するとしている。

問 本村の独自性と魅力を高め子ども人口の増加を期待して、既に高校卒業まで完全無償化の子どもの医療費ゼロ、ゼロ歳から2歳児の保育料と幼稚園も含めた3歳以上児の給食費の保護者負担をなくす保育料ゼロ、学校給食費ゼロの3つのゼロが保障された村を目指してはどうか。

また保育料と学校給食費、おのおの無償化に必要な費用を問う。

答 現在国は学校給食の無償化に向けた実態把握と課題整理を行った後に、具体的方策を検討するとしている。

問 本村の独自性と魅力を高め子ども人口の増加を期待して、既に高校卒業まで完全無償化の子どもの医療費ゼロ、ゼロ歳から2歳児の保育料と幼稚園も含めた3歳以上児の給食費の保護者負担をなくす保育料ゼロ、学校給食費ゼロの3つのゼロが保障された村を目指してはどうか。

また保育料と学校給食費、おのおの無償化に必要な費用を問う。

答 現在国は学校給食の無償化に向けた実態把握と課題整理を行った後に、具体的方策を検討するとしている。

問 本村の独自性と魅力を高め子ども人口の増加を期待して、既に高校卒業まで完全無償化の子どもの医療費ゼロ、ゼロ歳から2歳児の保育料と幼稚園も含めた3歳以上児の給食費の保護者負担をなくす保育料ゼロ、学校給食費ゼロの3つのゼロが保障された村を目指してはどうか。

また保育料と学校給食費、おのおの無償化に必要な費用を問う。

答 現在国は学校給食の無償化に向けた実態把握と課題整理を行った後に、具体的方策を検討するとしている。



遊具で遊ぶ保育園児

国が政策として無償化すれば応分の負担を行い、多くの自治体で無償化の取り組みが広がれば、村の施策として取り組む時期を判断していきたい。

しかしまずは保育所入所支援を優先させるために保育所の整備、その次に保育所の保育料の無償化という優先順位があると考えます。

民間も含めた保育料無償化には約1億1400万円、学校給食無償化には令和5年度予算ベースで約2億1400万円要する。

問 水害による被災者への支援と対策

答 冠水対策は、応急的・中長期的に

問 ゲリラ豪雨や台風、竜巻など大規模災害により被害が生じた場合、生活再建が難しくなるが、支援制度は。

答 風水害等による被災者への支援制度としては、村独自の支援として住家被害の程度により最大10万円（全壊10万円、半壊5万円、床上浸水3万円、床下浸水1万円）の災害見舞金制度と局地的被害時の被災者生活再建支援金制度がある。国の制度として、災害援護資金の貸付最大350万円、県の制度として、最大300万円の被災者生活再建支



光風会
江田 五六 議員



冠水した道路（舟石川地内）

問 9月8日の豪雨で多くの浸水・冠水被害が出ている。早急な対策が必要と思うが村長の考えは。

答 道路の冠水については、応急的なものとしてはU字溝の断面を広げる工事をして、少しでも排水を早くすることを考える。今回の浸水箇所についても、改めてしっかりと確認しながら、応急的な対策と中長期的なものに分けて対応したいと考える。

問 会計年度職員の正職員引き上げを

答 選考方法を改善し採用に効果

問 会計年度任用職員は、原則当年度のみの採用とされるため、次年度の雇用不安を抱えながら勤務しているが、高いスキルや熱意を有する職員も少なくない。一方で、地方自治体職員の入庁希望者数が減少するなか、当年度のみの採用は改善を要する。令和4年度の会計年度任用職員を5年度の正職員に引き上げた実績はいかに。

答 4月と10月の正職採用者のうち、4名は会計年度任用職員である。ここ数年は採用試験を変更し、会計年度任用職員を含めた多く



新政とうかい
みかみ おさむ
三上 修 議員



東海村ホームページの職員募集
（令和6年4月採用分の募集は終了）

の方が受験され、効果が現れている。

問 会計年度任用職員の採用期間を、次年度のインターンシップ期間と捉えて、日常の業務の中で育成することが優秀な人材の確保につながると思うが、本村の考えはいかに。

答 会計年度任用職員も正職員と同様に人事評価を行い、日々の業務の中で最大限の能力を発揮できるよう育成に努めながら、本村の将来を担う人材確保に取り組む。

問 広域避難計画の公表時期は

答 年内を目標として進めたい

問 タイミナル方式は、極めて有効かつ現実的な手法と考える。広域避難計画は、不断の見直しを行いながら、実効性を高めていくことが重要と考えるが見解を伺う。

答 計画は、修正・見

問 他地域では避難者の混乱を軽減し、円滑な避難所収容のために「避難経由所」というものを設けているが対応について伺う。

答 避難の際に目指すべき施設を「ターミナル」として位置づけ、順次開設した避難所へ案内するもので、他地域でも採用されている。



新政とうかい
とびた しずき 議員
飛田 静幸



東海村広域避難計画ガイドブック

直しを重ねながら、その実効性を高めていくべきものと考えている。

問 現状の村の計画案は、避難所一人あたりの面積が2平方メートルという条件では、すでに公表に値する内容である。こうした点も踏まえ、公表時期を具体的に示すべき。

答 発電炉だけでなく試験研究炉等が立地するため、防災施設ごとの初動の違いを住民に明示すべきで、早期に公表したいと考えており年内を一つの目標として進めたい。

委員会レポート

親しみやすい「議会だより」を目指して

議会報編集委員会では、議会における審議や村政の課題を分かりやすく住民の皆さんに伝えて、知っていただくための紙面づくりに努めています。

研修への参加を通じて編集技術の向上を図るため、去る8月24日に町村議会広報クリニックを受講して、編集の手法を学ぶとともに本村議会だよりへのアドバイスをいただてきました。

これらの成果を踏まえて、議会報編集委員会では「読みやすい」、「分かりやすい」、「親しみの持てる」議会だよりとなるようこれからも取り組んでまいります。



研修の様子



ダンスフェスでかき氷



舟石川幼稚園心の中にいつでも



秋冬に備えて



プール楽しかったよ！



4年ぶりの東海まつり

マイストーリー

SNAPSHOT

Vol. 7

村内の風景や思い出などをご紹介します。
たくさんのご応募ありがとうございました。

みなさんの「四季の思い出」写真を募集します。

〈応募方法〉メールまたは郵送でご応募ください。

〈郵送先〉〒319-1192 那珂郡東海村東海3-7-1 東海村役場議会事務局

〈応募条件〉村内在住・在勤の方 〈必要事項〉①写真 ②応募用紙（議会ホームページからダウンロードできます。）

〈メール先〉gikaijimu@vill.tokai.ibaraki.jp 〈募集期間〉令和5年12月20日まで



表紙写真の紹介



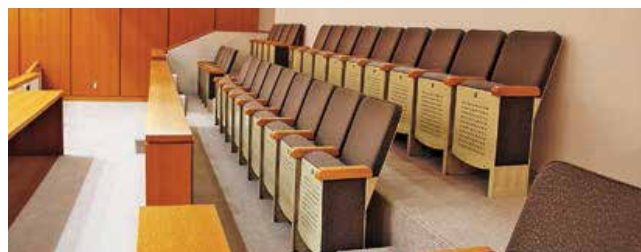
シリーズ **未来へ。**

文化センターで行われた東海村書道連盟による「夏休み子ども作品教室」。一堂に会して書道に取り組む様子は、正に「心を描く」瞬間。指導員と子どもたちの真剣な交流に、持続可能な東海村の未来が見えます。

傍聴から
はじめよう！

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越しください。（受付は30分前から）

傍聴の定員は50名



12月 定例会日程（予定）

期 日	時 間	内 容
11月28日(火)	午前10時～	開会
12月6日(水)	午前10時～	一般質問
12月7日(木)	午前10時～	一般質問
12月8日(金)	午前10時～	一般質問

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」でライブ配信中



期 日	時 間	内 容
12月11日(月)	午前9時～	予算決算委員会
12月12日(火)	午前10時～	予算決算委員会
12月15日(金)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

議 会 報
編集委員会

委 員
委

長 員

植木 伸寿
村上 孝

副 委 員 長
恵利 いづ

三上 修
河野 健一

吉田 充宏

笹嶋 士郎

UD
FONT